JCAB事業用および飛行教官資格取得を国内訓練を多用しめざす

JCAB 事業用 海外ライセンサーBコース

本コース申込に際しての重要注意事項（必要条件）

固定翼

本田航空への入学に際し、入学試験（書類審査、適性検査等）があります。
- ●本田航空入学試験出願時までに、TOEIC Listening & Reading Test 400点以上又は公益財団法人日本英語検定協会実用英語技能検定準2級以上の英語能力を有していること。
- ●本田航空入学試験出願時までに、航空身体検査証明第1種相当の基準に適合する見込みがあること。（本田航空指定医療機関での受診が必要）
- ●航空特殊無線技士以上の資格取得および航空従事者等学科試験（自家用操縦士の「法規」科目）の合格が入校時までに必要です。
- ●操縦訓練の実施に伴い本田航空への入学および契約手続きが必要です。

回転翼

- ●航空特殊無線技士以上の資格取得および航空従事者等学科試験（自家用操縦士の「法規」科目）の合格が入校時までに必要です。
- ●操縦訓練の実施に伴い第一航空への入学および契約手続きが必要です。

■訓練時間・期間は天候および個人の技量等により変動する場合があります。
また、記載の飛行訓練時間は、あくまで平均的な訓練時間です。訓練時間は修得状況により個人差があり、追加費用が発生する場合があります。
■留学時の米国や米国連邦航空局、提携フライトスクールおよび海外情勢等の事情により実施ができない場合があります。※
■渡航に際し、ビザの取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。※
■渡航の際に必要となるビザ申請において、操縦訓練費用（総額）や滞在期間中に必要な生活費など、米国滞在中のあらゆる費用を賄う充分な資金があることを証明する預金残高証明書の提出が必要です。
■渡航（米国内での操縦訓練）に際し、FAA Medical Certificates（3rd class以上）の取得が必要です。診断書の取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。※
■渡航（米国内での操縦訓練）に際し、Flight Training Security Program（FTSP）にフライトトレーニングの許可申請が必要です。飛行許可が下りない場合は本コースで訓練を受けることができません。※
■海外提携のフライトスクール入校に際し、米国提携フライトスクールによる英会話能力確認試験に合格し、フライトスクールの入学手続開始時（1年次12月頃）までに、TOEIC® Listening & Reading Test 405点以上を取得すること（証明書提出）が必要です。
また、資格取得のための飛行訓練および各種試験（筆記、口述、実技、無線等）はすべて英語で行われ、かつ、渡航前の事前教育も英語が主となるなど、相当の英語力が求められるため、渡航前より推奨英語能力レベル★を設定しています。
■記載の飛行訓練内容、飛行訓練時間・期間および訓練費は、2025年5月1日時点のものです。今後、諸状況により予告なしに変更、追加することがあります。
■その他、渡航先の入国条件がクリアにならない場合には、本コースは継続できません。
※そのような場合、国内ライセンサーコースを活用しての資格取得をめざすことになります。これに伴い訓練費用は増額となります。

取得できる免許・資格
- ■ICAOおよびJCAB自家用資格
- ■JCAB事業用・多発限定変更・計器飛行証明・飛行教官（操縦教育証明）資格
- ■ICAOおよびJCAB自家用タービン資格
- ■JCAB事業用・飛行教官（操縦教育証明）タービン資格

1年次

11-5月
海外提携フライトスクールが実施する英会話能力確認試験合格後、渡米までの期間、ICAO 自家用ライセンス取得のための学科試験対策や英語学習を各自で実施
（訓練コースごとに特別授業等を実施する場合があります）

2年次

6-8月
先進工学部
ハイブリッド留学®

3年次

4年次

3月
学士号取得

卒業後

固定翼

9月
- ★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R)500点以上

11月
- ★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R)600点以上

12月
- 固定翼か回転翼、およびコースの決定

米国提携フライトスクールによる英会話能力確認試験
合格者 →

まずはICAO自家用（単発）免許の取得をめざそう！

5月
- 米国提携フライトスクール入学手続開始時までに英語能力証明TOEIC(L&R)405点以上取得必要
- ★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R)700～750点程度 + ケンブリッジ英検リンガスキル(ジェネラル)のスピーキングテストでCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1以上

6-8月

海外提携校での飛行訓練
海外の提携フライトスクールにて
ICAO自家用（単発）を取得
飛行訓練※1：TOTAL63時間
訓練費：US$ 22,900

POINT
ICAO(FAA)自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

12月
本田航空入学試験

2-3月

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB事業用を取得
（計器飛行証明+多発限定変更）
飛行訓練※1：TOTAL238時間●
訓練費C：¥27,230,000（税込）

POINT
日本と海外の空を経験することで、気候・環境の違いも体感

8月

2-3月

★ 3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、4年次以降の飛行訓練の時期が変わります。

Aタイプ

4-3月

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB事業用を取得
（計器飛行証明+多発限定変更）
飛行訓練※1：TOTAL238時間●
訓練費：訓練費Cに含まれます

航空業界への就活
エアライン、航空機運営会社、飛行教官
（要追加飛行経験+資格試験合格）等

POINT
事業用取得後、追加飛行時間、各試験を経て飛行教官（操縦教育証明）もめざせます

Bタイプ

4-5月

4-1月

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB事業用を取得
（計器飛行証明+多発限定変更）
飛行訓練※1：TOTAL238時間●
訓練費：訓練費Cに含まれます

航空業界への就活
エアライン、航空機運営会社、飛行教官
（要追加飛行経験+資格試験合格）等

POINT
卒業後、何年間かお金を貯めてからでも可能！経済状況にあわせて段階的に取得もできます

Cタイプ

4-3月

本田航空（大分空港）での飛行訓練※2・3
JCAB事業用を取得
（計器飛行証明+多発限定変更）
飛行訓練※1：TOTAL238時間●
訓練費：訓練費Cに含まれます

航空業界への就活
エアライン、航空機運営会社、飛行教官
（要追加飛行経験+資格試験合格）等

POINT
事業用取得後、追加飛行時間、各試験を経て飛行教官（操縦教育証明）もめざせます

固定翼の注意事項
- ※1 飛行訓練には飛行訓練装置による訓練時間を含みます。また、各種資格取得の課程で学科教育があります。
- ※2 3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、本田航空および本学が協議のうえ、許可を得た者のみ選択可能。
- ※3 本田航空と本学を2～3週間ごとに行き来しての飛行訓練を行います。授業や卒業研究で大学に帰京している期間は操縦訓練から除外されます。
- ●＝飛行訓練はどのタイプを選択しても、合計で238時間です。重複するものではありません。

回転翼

12月

米国提携フライトスクールによる英会話能力確認試験
合格者 →

6-8月

まずはICAO自家用（タービン）免許の取得をめざそう！

海外提携校での飛行訓練
海外の提携フライトスクールにて
ICAO自家用（タービン）を取得
飛行訓練※4：TOTALピストン56時間 +タービン10時間
訓練費：US$ 45,800

POINT
ICAO(FAA)自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

2-3月

第一航空（八尾空港）での飛行訓練
JCAB事業用（タービン）を取得
飛行訓練※4：TOTAL114時間●
訓練費D：¥11,505,000(税込)

POINT
日本と海外の空を経験することで、気候・環境の違いも体感

4-11月

第一航空（八尾空港）での飛行訓練
JCAB事業用（タービン）を取得
飛行訓練※4：TOTAL114時間●
訓練費：訓練費Dに含まれます

航空業界への就活
自治体、消防・警察、ヘリコプター運営会社、飛行教官（要追加飛行経験+資格試験合格）等

POINT
事業用取得後、追加飛行時間、各試験を経て飛行教官（操縦教育証明）もめざせます

POINT
卒業後、何年間かお金を貯めてからでも可能！経済状況にあわせて段階的に取得もできます

回転翼の注意事項
- ※4 各種資格取得の課程で学科教育があります。
- ●＝飛行訓練は合計で114時間です。重複するものではありません。